

こすもす認定こども園における自己評価

令和4年度

A:たいへんよい
 B:よい
 C:一部検討を要する
 D:改善を要する

項目	評価の内容	評価	意見・改善策
保育目標について	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた目標を設定しているか	A	園の全体的な計画に基づいて子ども達の姿と照らし合わせながら子ども達に無理のない目標を立てていった。長期の計画で1年をある程度見通し、そこから短期の計画を作成、具体化し、実践を振り返り、計画の見直しを行っていった。日々の保育の実践と振り返りを丁寧に行うことを大切にしたい。
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	目標は、前年度の反省を生かし全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	B	
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	B	コロナ禍が続いたので、その時々状況に応じて柔軟に対応することを心掛けた。環境衛生面には特に気を配り、食事の仕方、午睡の寝方、床や机、玩具の消毒、マスク使用等、密を避けながら生活を維持する方法を試行錯誤した。コロナの波を意識しながらも子ども達の活動が消極的にならないように心がけ、その都度どのように取り組んでいくか、職員同士で話し合い、常に工夫するようにした。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	B	
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	素材・用具を適切に活用しているか	A	
	評価結果をもとに保育の改善に努めているか	B	
行事	行事の種類や実施回数は適切か	A	ちびっこレクリエーションはサイロ公園で行った。1部は0.1歳児と2歳児のクラスに分かれ、2部は大きい組(3.4.5歳児)で開催した。天候にも恵まれ、戸外でもありのびのびと楽しい時間を過ごすことが出来た。参観日や発表会はクラス単位で行った。どちらも保護者の人数制限を行ったが、保護者の協力もあり、無事開催することができた。ここ数年、行事の中止や制限が続いたので、保護者には開催することに温かい理解を示して頂き、子ども達にとっても保護者に見守られ参加できる行事は貴重な体験であると感じた。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	B	
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	B	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	保護者の願いや意見を取り入れているか	A	

項目	評価の内容	評価	振り返り・改善策
体制・運営	係や仕事の分担・割り当ては適切か	A	書類に取り組む時間（ノーコンタクトタイム）を作るため、クラス会議の回数や午睡の付き番等、見直した。又、会議が適切かつ効率的に行えるように子どもの様子や会議で話し合いたい内容を事前にまとめ、職員それぞれが意見を出し合える体制づくりを目指した。
	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	
	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	B	
	打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	A	
保健・安全指導	環境に考慮した保健対策を講じているか	B	毎月の避難訓練に取り組み、事故や災害について知ること、様々な場面を想定して、どのように対応していくか実体験する機会とする。又、そこで気付いた事柄を次回の課題として取り入れるようにしている。 緊急時のために地域との連携をさらに進めていきたい。
	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	B	
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A	
	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか	B	
研修	園内研修の計画・運営は適切か	A	職員の学びたい内容を取り上げ、毎月園内研修を行っている。特に「誤飲・誤嚥」については身近な問題であるので、非常勤職員にも参加していただき、全体周知に努めた。「不適切な保育」についても様々なニュース報道があったので、それを知ると共に、不適切な保育について考える時間を作った。リモート研修にも積極的に参加した。
	研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	B	
	研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	B	
	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図り、園内に還元しているか	A	
情報について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか	B	個人情報の取り扱いについては、職員にも周知し、重要書類は鍵付きロッカーにしまう等、厳重に注意している。 表簿は各担当者が責任を持って管理し、必要に応じて記入、提出する。昨年度のものは事務所にまとめて厳重に管理する。
	公文書收受、発送、処理を適切におこなっているか	A	
	各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・設備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	B	施設内外の安全点検を計画的に行い、安全整備に努めた。遊具、用具の保管場所も何をどこに置くか定まってきたので、各自責任を持って出し入れするようにしている。 掲示板にはお知らせや誕生会の様子等をドキュメントとして掲示すると共にきつずノートを活用して保護者に配信するようにした。掲示は期間を決めて、貼りっぱなしがないようにした。
	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか	A	
	不審者等に対応する周到な配慮を行っているか	B	
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	B	
出納・経理	各種会計を適正かつ適切に処理しているか	B	コロナで園が休園した場合や園児が濃厚接触者となり、自宅待機期間として園をお休みされた場合の給食費の返金処理等、適切に処理することが出来た。

地域・他施設との交流	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか	B	<p>おたよりの交換は続けたが小学校や姉妹園との交流はなかなか出来なかった。</p> <p>1月に入って年長クラスが小学校探検に伺うことが出来た。又、3月にはミニ児童館よりお誘いを受け、年長組が姉妹園の年長と共にミニ児見学を行うことが出来た。</p>
	他施設と日常的に情報交換し、それを交流活動に活かしているか	B	
保護者支援	園の見学は積極的に受け入れているか。地域の子育てセンターとして保育室等を開放しているか	B	<p>コロナ禍の間も見学は随時、受け入れ、園を見て頂いたり、育児相談にも応じるようにした。園開放も行ったが、コロナ禍もあり来園者が少なかつた。</p> <p>各クラスでは子どもの様子を保護者に伝えることにより、保護者に安心して預けて頂くと共に気軽にお話ができる関係づくりを日々目指している。</p>
	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか	B	
	職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか	A	
情報の発信	園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	<p>毎月のえんだよりを始め、クラスだよりを通して園での子ども達の様子、発達について、病気について、ケガについて等の情報を知らせたり、きつずノートやホームページを利用して行事の様子を積極的に発信するようにした。</p>
	行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	B	
外部評価	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	B	<p>行事後にはアンケートを行い、振り返りをするとともに保護者のご意見やご要望を次の行事に活かせるよう努めている。</p> <p>又、園にご意見箱を設置し、常に意見を聞く体制を整えている。</p>